

エコバルなごや

夏号
VOL.51

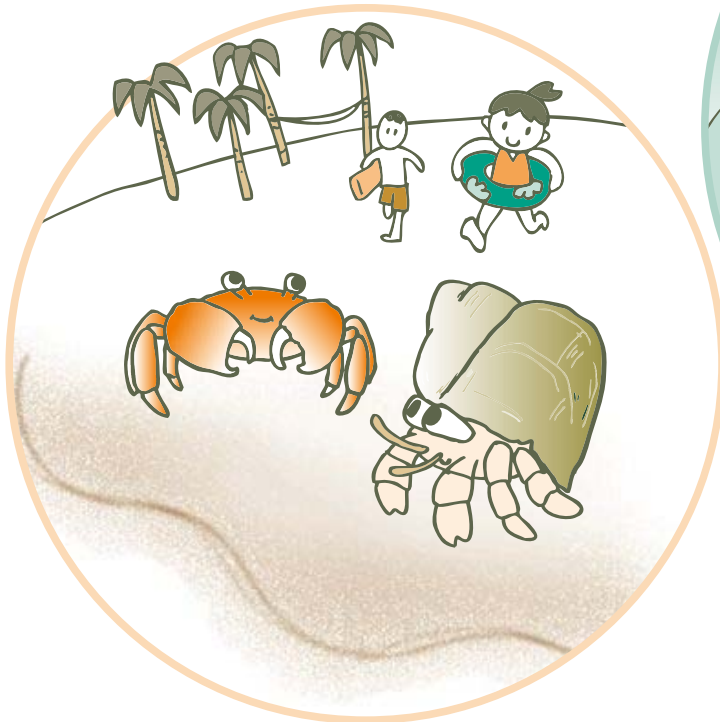
かんきょうをたのしく学ぶ

特集 自然とのふれあいについて考えよう

テレビでは、毎日のように旅の情報を流しています。その中で四季折々の豊かな自然を楽しむ様子が描かれています。

でも、自然は、決して人間のためだけにあるのではないのです。海も川も山も人間が遊びに来てくれてよかった、うれしいとは思っていません。人間の好き勝手な行動でかえって迷惑していることもあるのです。

本当の自然を理解し、自然に親しめるような旅をするために、私たちが気をつけなければいけないことを考えてみましょう。



いろんな話題お届けします。

特集 自然とのふれあいについて考えよう

なごや環境大学 なつやすみ特集!《なつやすみだよ!NHKこどもエコスクール》ほか

エコバル NEWS ワークショップ紹介! エコクラフトや実験など、楽しい体験学習を紹介します。

自然とのふれあいについて考えよう

皆さんは、野外でキャンプやバーベキューをしたことはありますか？キャンプやバーベキューは、自然にやさしいレジャーでしょうか？単に自然の中で遊ぶことが、自然にふれあう自然にやさしい行動と考えていないでしょうか？本当の自然とのふれあいは、自然に溶け込んで、自然を感じながら周りの自然に負担を与えないよう行動することで、電気やガスもない、日ごろの便利で安全な暮らしから離れ、少しの不便を感じることも、逆に楽しんでみることでないでしょうか？

今回は、私たちがどれくらい自然を理解しているか。私たちが知らず知らずのうちに自然に負担を与えているのか考えてみましょう。

海外旅行もいいけど、身近な日本の自然を感じたら

皆さんの中には、できれば「夏休みは海外旅行を」と思っている人もいるのではないのでしょうか？今まで経験したことのない外国の景色、文化に触れることは、大変いいことです。

でも、ちょっと都会から離れて、みんなで身近な海や川で遊んで、キャンプして、星空を見るなど自然にふれあうこともいい経験になります。

しかし、自然とふれあうためには、不便さと危険があることも覚悟しておかなければいけません。

自然は、決して人に優しくない

キャンプに行けば、ホテルや旅館とは違って、立派なお風呂や、トイレの施設はありません。また、自然が多い分、虫も多くいます。

その中には、人を刺したり、咬んだりする生物も多くいます。また、触ったりするとかぶれたりする植物もあります。

気を付けなくては いけない生き物

海

ウツボ、ウミヘビ、アイゴ、ゴンズイ、オニオコゼ、オニダルマオコゼ、ハオコゼ、ヒョウモンダコ(タコの仲間)、ミノカサゴ、アカエイ、アンボイナ(イモ貝の仲間)、カツノエボシ(クラゲの仲間)、アンドンクラゲ

野山

スズメバチ、アブ、ブユ、チャドクガの幼虫、ツツガムシ、ムカデ、ヤマヒル、マムシ、ヤマカガシ、ニホンヒキガエル、アカハラヤモリ

植物

ヤマハゼ、ウルシ

枝を折ったり
花を取ったり
していませんか？

ルールは
きちんと
守っていますか？

これらの生き物が人に害を及ぼすのは、好んで人に攻撃するのではなく、勝手に自分たちの生活圏に踏み込んできた敵に対する自分たちを守る自己防衛の反撃です。これを避けたいのであれば、これらの生き物の生態を理解し、できるだけ遭遇しないよう行動する必要があります。

また、海は塩からいし、体がべとべとするのがいやだという人もいます。

でも、シャワーを浴びればいいし、たまには、服を脱いで裸になって泳ぎ、開放的になって汗をかいたりすることも人間にとっては大事なことです。それに自然の中で、今までに味わえなかったいろんな体験や大きな景色が広がる海で、夕日が落ちる景色などは雄大で、自然の大きさを感ずるいい機会です。



今のあなたは、
どの人に
あてはまりますか？

騒いで
周囲に迷惑を
かけていませんか？

ゴミを捨てて
いませんか？

食べかすで
汚して
いませんか？

海の水は、なぜ塩からい？

約45億年前に地球が誕生し、最初に海ができたころは、大気中の水に溶けやすい塩素ガスが雨と一緒に海に溶け込み塩酸となり、海水は強い酸性で酸っぱい味だったようです。

この塩酸の海は、海中の岩石中の鉄やカルシウムなどを溶かし込み、長い年月を経て徐々に酸性から中性に変化して、現在のような塩からい海になりました。海水には、塩素イオンやナトリウムイオンをはじめとして、天然にある全ての元素が溶け込んでおり、これが塩からさの原因といわれています。



開放的になっても、 ルールは守る必要があります

最近、川や海の近くですぐに駐車できるようなオートキャンプ場のような便利なところが整備されています。

また、キャンプする近くにコンビニや自動販売機がある場所が好まれます。

自動販売機の電気使用量

飲料自動販売機の全体年間消費電力量は、名古屋市の全世帯数の年間使用量≒3,993百万kW・hの約1.5倍です。(一般家庭の年間電気使用量は4,177kW・hとして計算) 確かに近くにあれば、便利なときがあります。でも、すべてが本当に必要なのでしょうか？

種類別物品自動販売機の消費電力量
(2005年普及ベース)

種類	普及台数 (千台)	1台当りの 年間消費電力量 (kW・h/台)	全体の 年間消費電力量 (百万kW・h) (構成比%)
飲料自動販売機	2,675	2,224	5,949 (89.6)
食品自動販売機	103	2,576	265 (4.0)
たばこ自動販売機	616	614	378 (5.6)
券類自動販売機	43	1,023	44 (0.7)
その他の物品 自動販売機	907	4	4 (-)
合計	4,344	-	6,640 (100.0)

(注) 1台当りの代表機種から推計。

出典：日本自動販売機工業会、経済産業省総合資源省エネルギー部会資料

エアコンもついた4輪駆動の大型車で、川原も砂浜も思う存分走り、バーベキューの道具はもちろん、テレビも、DVDも、カラオケマシンも持って、飲んで食べて、わいわい騒いで、思い切り遊びたいという人もいます。

でも、自然を壊すようなことはしないことがルールです。自然を味わいに行くのなら、車を利用するのではなく、ゆっくりと歩いてみましょう。そのためには、出来るだけ無駄なものは持っていかないように、荷物は必要最小限にしなければいけません。

多くの荷物を持っていけば、 その分多くのごみができる？

帰りは、油で汚れたものや、食べかすなどの残り物、炭や灰で汚れたものは、車が汚れるから、全部そのまま捨てていこうという人がいるようです。

もっとひどい人は、バーベキューの網も道具もそのまま残して捨てていくそうです。

食べ残したごみなどいらなくなった物は、「水に流す」

“水に流す”という言葉の意味

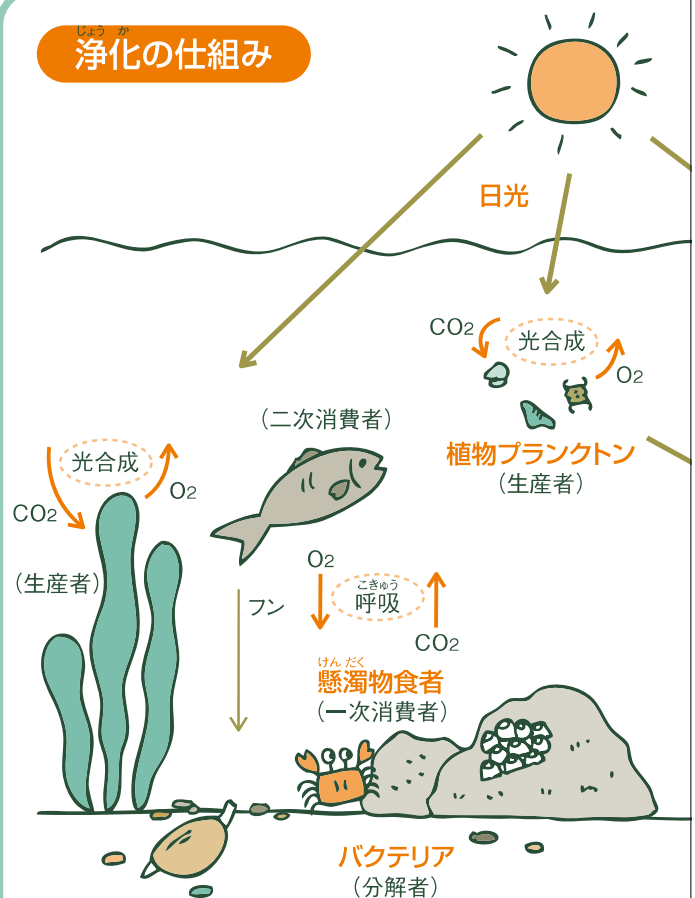
過去のいざこざなどを、
すべてなかったことにする」という意味です。

■水域の自然浄化

人の手を加えずに自然の状態、植物プランクトン、動物プランクトン、底生動物や魚など、その水域で生息するあらゆる生物が有機物や懸濁物を食べてくれることで浄化され、水質が汚濁せずに保たれます。

しかし、人が汚れのもととなるものを多く流せば、そのバランスが崩れ自然浄化は妨げられます。

浄化の仕組み

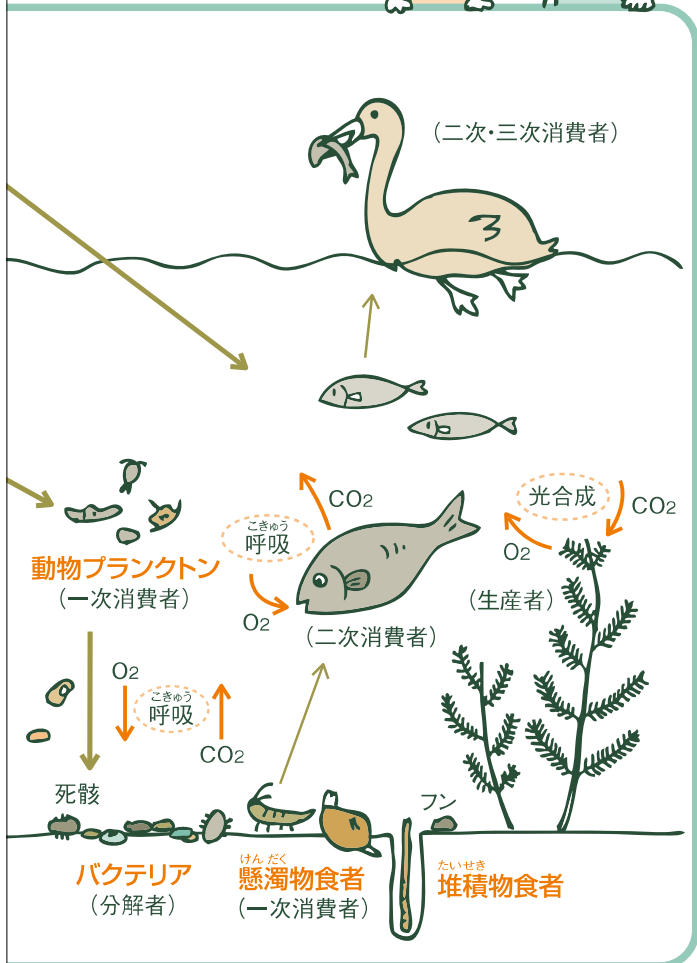
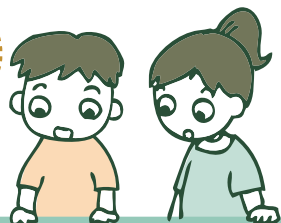


ということで、海や川がきれいにしてくれる。魚たちが食べて何もなくなると思っている人が多いです。

自分ぐらいが捨てても大丈夫と思う心が、環境を汚す一番の原因です。自分だけでも自然環境を守るという気持ちがあればだめです。持っていた荷物はもちろん、ごみも持ち帰る覚悟が必要です。それがいやなら、最低限の道具や材料を使って、ごみを出さない暮らしをする工夫が必要です。

これは、いろいろなものに囲まれ、豊富な食べ物に恵まれている日ごろの都会生活の中で、私たちが無駄なエネルギーを使わず、ごみを減らすためのヒントにもなり、地球環境を守り、身近な自然を守るためのキーポイントにもなるのではないのでしょうか？

色々な生物たちのおかげで海や川がきれいになるんだね



自然は自分たちだけのためにあるものではない

自然に気を使うだけでなく、自然を楽しみにきた周りの人にも気を使う必要があります。自分たちだけが、カラオケや、花火などで大騒ぎして、楽しむのではなく、その自然の中でしかできないことをしてみましょう。

だからといって、遊泳禁止の場所で泳いだり、水遊びをすることは危険です。海や川は、プールと違って思ったより冷たいし、急に深いところや、流れもあって、おぼれる人も毎年います。



“光合成”と“呼吸”

■光合成

葉緑体を持つ生物が、光のエネルギーを使い、二酸化炭素 (CO₂) と水を利用して、体内に糖やでんぷんなどの栄養となる有機物を作るとともに、体外には酸素 (O₂) を放出する働きです。

■呼吸

動物が、肺やえらなどの呼吸器官で外気から体内に酸素 (O₂) を取り入れ、二酸化炭素 (CO₂) を放出する「外呼吸」と、酸素を使って生物の体内で、有機物を水と二酸化炭素に分解して、そのとき得られるエネルギーをいろいろな活動に使う「内呼吸 (細胞呼吸)」があります。

「自分ぐらいは」ではなく、「自分だけでも」行動する

日頃から自分の楽しさだけで周りのことを考えずに行動していませんか？

その一つ一つの行動が、どれだけ周りの人や環境に影響しているのか考えたことはありますか？

それをすべてやめることはできないでしょう。でも一人ひとりが、ひとつでも、少しでも、その行動をやめたり、改善できれば、それが集まることで、みんなの力として環境への負担の減少には大きな力になります。

これからの毎日の暮らしの中で、できることから、一つでも多く環境への配慮をすることが、今残されている限りある自然環境を守っていくためには大事なことなのです。特に自然が多く残っている場所では、自然が多い分、よりいっそうの配慮が必要です。



なつやすみ 特集!

参加者
募集

なつやすみだよ! NHKこどもエコスクール

NHK 名古屋放送局センタービルで、夏休みに親子向けのエコイベントを開催します。

親子向けワークショップや、「ダーウィンが来た!」ディレクターによる制作裏話など、楽しみながら考えるプログラムになっています。ぜひご参加ください。



日時 7月22日(水)~25日(土)の10:00~15:00

会場 NHK名古屋放送センタービル(名古屋市東区東桜1-13-3)

おいしく学ぼう!夏休み親子講座 ~地球温暖化と生物多様性をお米から考える~

気象キャスター・気象予報士が地球温暖化の基礎知識、生き物・植物への影響を、実験やクイズを交えてわかりやすく説明します。

むずかしいな~と思っている方も大丈夫!何種類かのコメを食べ比べたり、色々な生き物がすむ田んぼを見たり、二酸化炭素の実験をしたり、クイズにも挑戦...楽しくてちょっとおいしい講座です。

NPO法人気象キャスターネットワーク



自然と触れよう!

なごや環境大学には自然と触れられる講座がたくさんあります。例えば...

- おばたの森遊び** なごや環境塾 どんぐりころころグループ
- 子ども樹木博士** エコミュージアムあいち
- ざわざわ森の生物多様性** 大将ヶ根ざわざわ森クラブ
- 子ども東山の森づくり隊** なごや東山の森づくりの会
- かかし君が、安心して暮らせる所は、どんなところだろう?〈基本編〉** いしいゆみの食育たのしみ隊

お問い合わせ

なごや環境大学実行委員会
事務局(エコパルなごや内)

TEL/FAX 052-223-1223
[メール] jimu@n-kd.jp
[ウェブサイト] <http://www.n-kd.jp>

自然について
楽しく学べる
講座がいっぱい!



詳しくは、各区の区役所や図書館、生涯学習センターで配布している「なごや環境大学ガイドブック」やホームページをご覧ください。

エコパルNEWS

ワークショップ紹介!

ワークショップでは、
エコクラフトや実験を通じて
楽しく体験学習できます。



廃油せっけんづくり

そのまま排水溝に流せば水質汚濁につながる廃油で石けんをつくり、水の大切さや合成洗剤のの違いを学びます。

アルミCAN-CAN

ジュースの空き缶を使って小物入れを作りながら、資源の有限性とモノを大切に使うことの必要性について学びます。



ストーンペイント

自然の石に絵を描きながら、環境に優しい暮らしや物について学びます。



マーブルペーパー

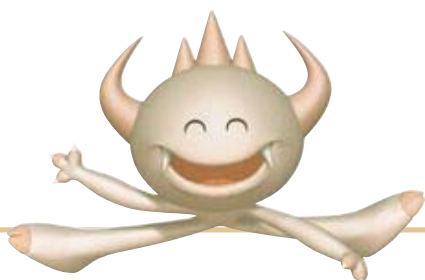
紙に油を吸わせる原理を基に、オリジナルマーブルペーパーを作りながら、家庭からの生活排水による水質汚濁の現状と環境に優しい暮らしを学びます。

なごやまちの木

まちの中に植えられているいろいろな種類の街路樹たち。それぞれの働きや、小動物とのかかわりなどを観察します。

この他にも、夏休みの宿題の役にも立つかもしれないプログラムが色々あります。

体験は無料です。お問い合わせは「エコパルなごや」までお気軽にどうぞ。



その他のプログラム

- ★いきもの立体パズル
- ★環境家計簿
- ★にのひみつ
- ★バナナペーパー
- ★やつぱりきれいな水がいい
- ★かんきょうかみしばい
- ★ロープワーク
- ★季節の食べ物
- ★環境ドライブ

①おおきなおいも ②こーちゃんのたび 他



スターウォッチングのお知らせ



星空を見ることにより環境について考えよう!

今年も夏のスターウォッチングを行います。

- 日時** 8月23日(日) 15:00~20:30
- 会場** エコパルなごや&名古屋市科学館
- 対象** 名古屋市内在住の小学4年生から中学3年生
- 人数** 20組40名(抽選)
- 参加費** 大人600円(利用料)、こども無料
- 応募方法** 電話またはFAXまたはE-mail
- 申込締切** 8月13日(木) 必着

環境のことをもっと知りたい小学4年生から中学3年生とその保護者の皆さん、ぜひご参加ください!



夜空に輝く
きれいな星を観察しよう!



名古屋市環境学習センター
エコパルなごや
しょうかい
紹介します
みんなで
あそびにきてね!

エコパルなごやは、ゲームやクイズ、工作など、いろいろな体験をしながら、環境にやさしい行動へのきっかけをつくることです。社会見学や団体行事など、環境学習の機会にエコパルなごやをぜひご利用ください。もちろん個人でも自由に入れます(入館は無料)。

※団体予約など、くわしくはエコパルなごやまでお問い合わせください。

- ワークショップ**
楽しいエコクラフトや実験をとおして、環境にやさしいライフスタイルを発見します。
- 環境情報コーナー**
インターネットや図鑑ソフトを使って、環境に関するいろんな情報を集めることができます。
- ビデオライブラリー**
環境に関するビデオを自由に観ることができます。
- バーチャルスタジオ**
環境オバケ「コバちゃん」のトークで、ドキドキ、わくわくの「生放送」がはじまります!
- 相談カウンター**
環境学習に関するさまざまな相談ができます。
- EXPO エコマネーサテライト**
EXPO エコマネーポイントのためたり、たまったポイントをエコ商品に交換したりできます。
- 企画展示**
月替わりで展示される最新の環境情報で新しい発見を。
- クロマキースタジオ**
地球上の美しい自然や生き物たちの映像「アースビジョン」や、動物たちと一緒に写真が撮れる「クロマキースタジオ」を体験してね!
- 図書ライブラリー**
環境に関する書籍が豊富にそろい、パソコンで専門家の話も学べます。

他にも環境について学べる施設があるよ!

名古屋市リサイクル推進センター

名古屋市リサイクル推進センターは、不用品の交換をすすめたり、3R(リデュース:発生抑制、リユース:再使用、リサイクル:再生利用)に関する図書を貸出したり、みなさんが3Rを進めるためのいろいろな手助けをしています。

所在地 〒460-0011 名古屋市中区大須四丁目11-15先 地下鉄上前津地下街
アクセス 地下鉄「上前津」駅 名城線北改札口を出てすぐ
電話 052-251-5300 FAX052-251-5308
E-mail recycle@ppp.bekkoame.ne.jp
URL http://www.nagoya-recycle.or.jp/
開館時間 午前10時~午後6時
休館日 毎週月曜日、年末年始(12月29日~1月3日)

名古屋市環境学習センター エコパルなごや

〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目23番13号 伏見ライフプラザ13階
(地下鉄東山線・鶴舞線の伏見駅6番出口徒歩5分)
■開館時間/午前9時30分~午後5時 ■入館料/無料
■休館日/毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は直後の平日)、年末年始(12月29日~1月3日)

お問い合わせ TEL052-223-1066 FAX052-223-4199
http://www.ecopal.city.nagoya.jp/ E-mail: a2231066@kankyokyoju.city.nagoya.lg.jp



この情報誌は、古紙パルプ配合率70%・白色度70%の再生紙を使用しています。

